

令和4年9月7日

瀬戸市議会議長 水野 良一 様

都市活力委員長 西本 潤

都市活力委員会 行政視察報告書

本委員会は行政視察を実施しましたので、下記のとおり報告いたします。

記

1 視察期間・行程	令和4年8月5日（金） 詳細は別紙のとおり
2 視察先	愛知県豊川市
3 視察項目	公園の再整備（インクルーシブパーク・パーク PFI）について
4 視察者及び随行者	委員長 西本 潤 副委員長 松原 大介 委員 池田 信子 柴田 利勝 三木 雪実 藤井 篤保 伊藤 賢二 原田 学 議会事務局 議事課長 長谷 一憲 建設課専門員兼公園緑地係長 嶋田 幸宏
5 その他	

インクルーシブパーク・パーク PFI について

<p>1 事業の目的及び経緯</p>	<p>都市公園の新たなステージにおいて、これまでは経済成長、人口増加等を背景とし、緑とオープンスペースの量の確保を進めるものであったが、少子高齢化、人口減少、施設の老朽化の進展により、社会の成熟化、市民の価値観の多様化、都市インフラの一定の整備等を背景とし、緑とオープンスペースが持つ多様性を、都市のために持続可能な魅力あふれる高質都市の形成、地域のために個性と活力ある都市づくりの実現、市民のために市民のクオリティオブライフの向上などを最大限に引き出すことを重視するステージに移行するために公園の整備を行っている。本市においても 276 か所ある公園の中で、少子化により、子どもが遊ばなくなった公園、地域での管理ができず草が生え放題の公園、住民の高齢化などの変化により、地域の実情に合わなくなった公園も多く存在している。今後、地域の実情に合った適正な配置、整備を行っていく必要があるため、先進的な取り組みを行っておられる豊川市の事業を本市の取り組みに活かしていくことを目的とする。</p>
<p>2 事業の概要及び事業費</p>	<p>豊川公園 インクルーシブ広場 豊川公園は、市の中心市街地に位置し、幅広い市民に親しまれる市を代表する都市公園の「子ども広場」として、他の都市公園にない役割、機能が求められた。市民意識調査の公園に求められることの中で、「身近で親しみやすい公園」、「公園のバリアフリー化」が上位にあがっていたため、「誰もが遊べる広場づくり」を目指し、年齢や身体能力に関係なく、誰でも一緒に遊べる遊具の設置、インクルーシブの概念に基づいた遊具の設置を行っている。</p> <p>事業費：整備面積 1,800 m²の費用として、約 5,800 万円</p> <p>赤塚山公園 パーク PFI について 民間活力による新たな都市公園の整備手法を創設し、公園の再生・活性化を推進することを目的とし、公募設置管理</p>

	<p>制度（パーク PFI）が創設された。都市公園において、飲食店、売店等の公園施設の設置または、管理を行う民間事業者を公募により選定し、株式会社 イトコーが選定された。</p> <p>事業費：飲食物販施設（公募対象公園施設）は民設民営。休養施設（特定公園施設）は、整備後、市に引き渡しされるので、建設費約 2,000 万円のうち 200 万円を地元業者、残りを市が負担している。</p>
3 事業の効果	<p>豊川公園 インクルーシブ広場</p> <p>市役所に隣接する中心拠点に位置することから、付近に居住する人たちの利用に供することのみならず、身近で親しみやすい公園であり、バリアフリー化などにより、年齢や身体機能に関係なく、誰でも一緒に遊べる広場となっている。</p> <p>赤塚山公園 パーク PFI について</p> <p>令和 5 年 4 月頃オープン予定のため、オープン以降に検証していきたい。</p>
4 事業の現時点での課題及び今後の方向性	<p>豊川公園 インクルーシブ広場</p> <p>特に大きな課題はなかったが、他の施設が集約されているため、利用者が集中した場合の駐車場の確保が課題であると感じた。</p> <p>赤塚山公園 パーク PFI について</p> <p>公募の説明会には 11 団体が参加したものの、公募の結果としては、1 社の応募であった。この 1 社も地元業者であり、地域貢献を優先した採算度外視でのエントリーという面もあったと思われる。一定の集客力を有した赤塚山公園でも、ほとんどの民間事業者が参入の意思を示さなかったということに厳しい現実があると感じた。</p>
5 主な質疑・応答	<p>Q. 障害の種類が多いが、どういう点に気を付けたか。</p> <p>A. 各団体に聞き取りを行って遊具の決定を行った。</p>

	<p>Q. 豊川公園のプールを廃止しているが他にプールはあるのか。</p> <p>A. 市営プールが50mプールであったため競技会を行っていた団体から意見があったが、市内の高校のプールで対応した。B&G財団のプールが小坂井にあったため代替施設とした。</p> <p>Q. メンテナンス費用の創出のための有料化は検討したことはあるか。</p> <p>A. 赤塚山公園は無料としている。有料化の検討もあったが、敷地の半分くらいが借地で、地元の墓地もあるため、無料としている。豊川公園はスポーツ施設利用料金をメンテナンス費用としている。</p>
<p>6 考察 (所感・本市への提言等)</p>	<p>豊川公園 インクルーシブ広場 遊具の価格も通常の遊具の約1.5倍程度と比較的安価なため取り組みやすいものであり、市民福祉の向上にも繋がり、真に効果のある障害者施策の観点からも本市でも取り組んでいってもよいのではと感じた。</p> <p>赤塚山公園 パークPFIについて パークPFIは飲食物販に限ったものでもなく、保育所や福祉施設などの例もあるため、民間事業者の収益性というよりは民間事業者が公園内に設置する事自体にメリットを得られる施設が望ましいのではと感じた。</p>
<p>7 その他 (特記事項等)</p>	